滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及遞送人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼壹日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減
每張四百文

蜂印香竄葡萄酒	全
札幌麥酒	全
赤味噌	大樽 四打入
桃	同十一圓
梨	同九圓五十錢
人形ミルク	四打 全
澤鶴 正味四斗四圓升入	十七圓
サッポロビール	九圓七十錢

（宅合名會社調查）

告示

關東總督府
陸軍大將男爵　大島義昌

出示曉諭事照得橫濱正金銀行向於上海天津牛莊等埠專爲利便交易起見發行銀元鈔票所有納欵諸凡交易均用該票無異銀元通用極便商賈爲之暢通實於商務有益己爲人所共知也及至滿洲前爲兵燹之區我日本軍隊使用軍票是以該銀行暫行緩發者也日俄和平滿洲一帶全歸安靖商務亦將見其膺日之興旺我軍隊隨即逐漸撤退所發軍票亦應收回於是橫濱正金銀行茲奉我日本政府允准一面再行發票一面置銀備換以便商務而資滿洲貿易之發達爲此示仰各色旗民紳商等一体知悉爾等嗣後即將該銀行所發鈔票視同軍票均須通用勿得懷存猜疑可也倘有奸譎之徒謠言惑衆碍難通用以博漁利者一經查出立即從嚴懲辦決不寬貸各宜遵照無違特示

明治三十九年一月

告示

横濱正金銀行ハ從來上海天津牛莊等ニ於テ諸般取引ノ便利ノ爲メ銀ト引換ヘキ一覧拂手形ヲ發行シ來リシカ右ハ各種ノ公納其他一般商業上銀貨同樣ニ使用セラレ流通圓滑ニシテ金融ノ疏通ニ資スル處多大ナリシハ業ニ已ニ普ク知ル所ナリ曩キニ滿洲ノ地戰爭ノ區トナリシニ際シ日本軍隊ハ主トシテ軍用手票ヲ使用セシヲ以テ横濱正金銀行牛莊支店ニテハ一時一覧拂手形ノ發行ヲ見合ハセシモ今ヤ平和回復シ滿洲ハ茲ニ全ク安靖ニ歸シ商務モ亦正ニ舊日ノ旺盛ヲ見ントス而シテ漸次軍隊ノ裁撤セラルヽコトニ從ヒ軍用手票モ亦之ト伴フテ交換回収セラルヘキヲ以テ横濱正金銀行牛莊支店ハ再ヒ一覧拂手形ヲ發行シ舊ノ如ク商務ノ便ニ供シ益々滿洲貿易ノ發達ニ資スル所アラントス右一覧拂手形ハ日本政府ノ認許ヲ得テ發行シ銀貨ヲ準備シ隨時交換ノ用ニスルモノナルヲ以テ汝等人民ハ之ヲ信用シ軍用手票ト同一ニ公私一般ノ取引ニ受授通用シテ毫モ疑アルヘカラス若シ夫レ奸譎ノ徒妄ニ浮説ヲ流布シ流通ヲ妨害シ以テ利ヲ博セントスルモノアラハ立トコロニ嚴罰ニ處シテ決シテ假借セサルヘシ各遵奉シテ違フ勿レ特ニ示ス

明治三十九年一月
關東總督男爵　大島義昌

三井洋行

啓者本行開創在中外通商各埠己有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷者

●精製白砂糖新入荷物あり

倉庫部
今回倉庫所在地（西堆子糖搗搗上陸り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候（電話百二十八番）

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元帥廟街自造日本酒澤龜印并一切雜貨其名擧己傳播於滿洲全地矣今又擇在西營子老爺閣街同成德院內分設支店一所發賣綿紗綿布火柴絲布絨衣樹棵布手巾花巾東洋緞子洋傘鐘表貨物俱全而價値尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
總管理人　田中賴之助謹白

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並經理兌銀仗衆代客經理買賣租船裝運事宜營口西南二岔自建碼頭以便輪船二艘並棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便圍內貯油餅豆米麥更爲合宜兼備有輪船一艘名城多號[illegible]貴客賜顧請到小號面議是荷及存棧貨物水脚棧租格外從廉
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業弄厫做油房壹擧及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇通知之
正理事潘玉田　副理事金德魁
設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幫火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

恒有長

本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價値格外從廉克己并另設銀爐包營鑄錦以應急需久爲中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

元茂盛

油坊買賣元荳油荳餅雜色糧石以及代客購辦雜貨布疋一槪發行裝運沙寶熗船交易南北客商歷有年矣爲此謹白
開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

代代米烟公司

本行專售日本官造紙烟星象牌（斯達）櫻花牌（捷利）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特還上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆浩來福）清香撲鼻佳美適口而價値極廉諸尊欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
橫濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫動　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

電話十番　支配人室
百八番　事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也
松茂洋行商業部　河岸通（電話五十二番）

滿洲日報各地賣捌所
滿洲日報廣告取次所

大連市[illegible]岐町三百三十八號　日華運輸公司
大連市磐城町四十九番地　岡野新聞舗
奉天大南門内景祐宮胡同　全泰號
遼陽　遼陽倶樂部　谷口今朝太郎

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す（取扱主任產婆大道しげ子）
院主　森纈
醫長　鈴木昌平
營口永世街（電話一五五番）

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、襪子、鐵袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價値格外從廉克己、凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町　藤原謹啓

田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口繳定門外經大阪九三組精選東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉賜顧者請光臨本舖面圖是幸
田中牛莊分莊謹啓

材木販賣　荒物

秋田洋行

營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司訂以日本輪船運到各種木料品質精良久己馳名兼辦以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本塲東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子真價實以應各主顧之需
局本主人啓

米國製
白麵發賣

大連市羽前町千八番
英組大連支店

營口元神廟前
飯塚工程局材料部
（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.
Telephone No. 29.
料　一長期連揭減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

本日の佳節

滿洲日報

凡そ環宇の列國、古きは則ち全く衰亡し、强きは則ち多く新興の國に屬す、未た古くして昌榮せると我邦の如く、强くして建國の久しきと我邦の如きは之れ有らず。支那の如き埃及の如き希臘の如き、其文明遠く幾千年の古に溯りて一時旺盛を極めたりと雖も、今は唯其形骸を存して、國其主を代へたると幾たびなるを知らず、文物典章さへ湮滅して茫漠討ぬるに由無く、英の如き佛の如き獨の如き、若しくば露米の如き墺伊の如き、富强宇内に冠絶すと雖も、其建國近きは三四百年、遠きも一千年を出てす、之を我か紀元二千五百六十又七年の久しきを經て、而も皇統連綿として萬世一系の天子之を治しめし、而して灼赫たる今日の盛運に居ると、固より同日の論に非す。

惟ふに皇祖神武天皇始めて都を橿原に奠め大御位に即かせ給ひてより、時に汚隆あり世に盛衰無きに非すと雖も、國運の進歩は曾て一日も息む時無く、藤平の文弱時代又は室町の混亂時代の如き、一時の進運を妨けたるの迹は則ち之れ有らんも、斯る極衰の時代に於てすら、或は文學技藝の進歩によりて國民の品性を陶冶し、或は攻城野戰の間自ら國民尙武の氣象を涵養し來りて、我國運の興隆に資せる所決して鮮少に非すとす。但た由來我國運の進歩や、漸進的にして急進的にあらす、故に國家的行動中、兩次の征韓役を除く外、絶えて功業の人目を新にするもの之れ無かりしかど、其漸進的なりしか爲めに、國家の基礎益〻鞏固に、偶〻外難に遭ふある、則ち優に其壓力に抵抗して能く困難を排却せるのみならす、遂に禍を轉して福と爲し、以て國家今日の隆運を致せるもの、豈由來する所の素養あり淵源する所の根柢あるを以ての故ならすや。

明治の昭代は即ち集成の時代也。邦家今日の大活動大發展を見たるもの、固より我叡聖文武天皇陛下の稜威に由るや論亡しと雖も、亦實に皇祖之か丕基を定め、列聖其遺謨を繼承し、世々新民の大義によりて斯國を統治し、國家活動の素養已に由來する所あり、國民發展の根柢已に淵源する所あるを以て也、故に幕末内外の國難始めて靖謐に歸するや、恰も積雪の排除せられて春卿の一時に萌え立つ如く、内は王政を復古して大小の政治を更革し、外は外國と和親を結ひて通商貿易を開き、風氣日に發け國力月に張り、僅に四十年の間にして、文は以て東西兩洋の精華を萃めて曠古の盛運を致し、武は以て百萬健闘の壯夫を養ひて世界の最强國を擊摧し、國威八紘に加はりて皇德萬民に光被し、世界列邦仰ぎて以て我を宗とせさる莫く、遂に列强と大使を交換して我邦の地位始めて確定し、我友邦大英國は親しく其宗室を派して世界最高の勳章を我皇に贈呈し以て敬意を表せんとす、況んや這次戰役の結果、國威隣邦を壓倒して、韓半島は言ふに及はす、滿洲の一半亦我勢力圏下に歸し、吏を派し兵を駐し、以て盛に經營を行はんとするをや、則ち知るへし、國家今日の聲譽翅に皮相の名のみに非すして、其實亦遂に爭ふ可らさるものあるを、斯の如きは畢竟我皇祖皇宗の遺烈と我皇の稜威との然らしむる所にして、他泰西新興諸國の如く、現在を有して歷史を有せす、又彼の幾多衰殘の老國の如く、歷史を有して現在を有せさるの類に非す。嗚呼光輝ある歷史を有し、聲譽ある現在を有する我御門の帝國は、其國體宇内に冠絶し古今に卓越す、生を斯國に享くる者、誰れか祖宗の遺烈に感謝せさるへき。

今茲本月本日適〻神武紀元二千五百六十有七年の佳節に當り、吾人千里殊域に在り、其盛典を祝するの光榮を得て、歡喜窮りある無し、乃ち其國體を讃美して祝詞に代ふ。

倫敦電報

●**英國內閣員の謁見伏奏** 英國內閣員ジヨン、バーレス氏はエドワード陛下に謁見して伏奏一時間に及へり

●**佛國民の警戒** 佛國民は熱心にモロツコ會議に參列せる同國の代表者を警戒して曰くモロツコ政策に關しては毫も讓歩すること勿れと

●**英國親王の賜謁** コンノート殿下はプレトリヤに於て四百人の酋長及ひ土人に謁見を賜へり、彼等は英國に對して忠誠を宣誓し故ビクトリヤ陛下の盛德を追頌せり、殿下は該土人の柔順にして善く法に遵ふ風習を有する旨の報告を受けられたり

(以上二月七日發電)

●**チエムバレン氏の拘負** ジヨセフ、チエムバーレン氏はリドレー卿に書を寄せて曰く余は統一黨を統率すへき希望なし然れともバルフア氏の政見に合同せむが爲めに關稅改正の意見を放棄するが如きは余の斷して爲さゝる所なり余に政見を議定せむか爲めに統一黨の大會を請求せり、大會の多數か關稅問題を放棄せむと欲せは余は余の同志と共に一團体を組織し他の共同問題に就ては統一黨と共に行動せむと欲する者なり然れとも政治的生涯の重大問題たる政見を曖昧模糊に附するか如きは余の一致せさる所なり、要するに政黨機關の改造は刻下の急勢なりと

(以上二月八日發電)

北京電報

●**北洋軍の滿洲駐屯** 直隷總督袁世凱氏の北洋軍第二師團は愈々明日保定を出發して奉天に向ふべしとの情報ありたり

●**露淸談判の豫想** 外交界の一部人士間に豫想せらるゝ處に依れば淸露の談判は兩國各々困難なる要求を提出し其結果確然たる決定を看すして曖昧の裡に會議の終結を成すならんと云ふ

(以上二月十日發電)

雜報

●**宮中の紀元節御宴** 本日は神武天皇即位二千五百六十七年の佳辰に相當するを以て宮中に於ても例年の如く紀元節御宴を催さるへき御豫定にて過般内外臣僚に對し宮内省式部職より六百餘通の御召狀を發せさせ給ひたる趣なれは平和克復後第一次の紀元節といひ定めて未曾有の盛宴ならんと拜察し奉る

●**海軍の勳功調査** 海軍の武功調査はその後追々進捗し重要部は既にそれ〴〵內定したるも陸軍との權衡もあれは目下尙內々打合中にて多分三月中には一部の發表を見るならんと或一部の說には其發表は陸軍と同時にせらるべきやに傳ふれども陸軍の調査は多方面に涉り急速に結了すへくもあらさるを以て海軍は海軍單獨にて發表せらるへしと確聞す

●**米國陸海軍缺點** 米國新聞は一般の米國人か言論上にては愛國者たるも自由主義の發達より實事上兵員となりて軍務に服するを厭ひつゝあることは每年脫營兵の增加に依りて明かなりとの說を爲しタフト氏は陸軍の成績は決して歐洲一等國に劣らさるも兵士の生活問題のみは米國の生活程度に準し自から歐洲兵と異らさるへからすと聲言しデユウニー提督は海軍士官中には年巧者尠からされは青年士官の養成は米國目下の急務なり米國の實力は百隻の戰闘艦を建造するに難からさるも海員養成は米國の生活と米國の自由思想に適應する方法を講せさるへからすと言明し上下共に米國陸海軍の將卒養成難を認めつゝありと

●**大島總督の御暇乞** 上京中なる大島關東總督は不日歸任の途に就くへきを以て御暇乞として幕僚を率ゐ葉山御用邸に參向し皇太子殿下に拜謁御下賜品ありて御陪食仰付られ次に鎌倉御用邸に參候し富美宮、泰宮兩內親王殿下に拜謁の上即日歸京せしか去る一日は御暇乞として參內續いて東宮御所に參候し三日午前七時新橋發滊車にて歸任の途に就かれたる筈なり

●**沿海州漁業權問題** 沿海州の漁業權に關する本邦要求條件の同案は程其筋に於て印刷に附したる模樣なれば同書類は本月中旬落合書記官赴任の際携帶して本野公使の手許まで傳達すべく該問題は本野公使赴任の上露都に於て兩國の間に協商せらるべしと

●**臺灣新法律案** 臺灣律令は其期限滿了に就き本回は既に別樣の形式を以て律令同樣の法律を發し得ることの法律案を發せらるゝ筈なるが右は單に臺灣に限らず樺太及び關東半島租借地域にも通用する法律案とし且總督の權限を擴め警察租稅一切の法令を發表し得るものなれば提出の曉には衆議院にては又東憲法上の論爭を起すべく後藤民政長官は目下吞氣俱樂部を督勵して議員の緩和に力めつゝありといふ

●**統監府開廳式** 一日午前十時より長谷川統監代理、鶴原長官以下統監府の吏員は舊外部衙門なる統監府に出揃ひて開廳式を擧げ夫れより直に事務を開始せしが追て他日を期し改めて盛大なる開廳式の擧ある由なり因に我公使館は愈〻卅一日限りにて閉鎖し一日より統監府を開始長谷川統監代理より韓廷に向つて通牒を發したる由

●**淸露間電線開通** 北京、恰克圖を經て亞細亞露西亞及び歐羅巴露西亞各地に至る電信線は總て開通したる旨在上海大北電信會社より通報ありたる旨遞信省より告示せり

●**凶作地救濟策** 凶作地方救濟に對し內務省に於ては種々研究中なるが先づ第一着に興業銀行勸業銀行等より低利の資金を借出して凶作地方に生產事業を起さんとするの計畫あり特に大藏省とも協議の上今回新に輸入する資金の一部を以て是等事業に充用せん筈なりと

●**韓國大使退京** 去月二十三日入京以來帝國ホテルに入り帝室の貴賓として待遇を受けられたる韓國答禮大使李載完殿下は去る二日帝室よりの待遇を辭し午前十時ホテルを退き麴町區中六番町なる元韓國公使館に入り四日午後六時新橋發汽車にて退京せし筈なりといふ

●**浦鹽の定期航海開始** 舊冬來浦鹽航路開始の計畫中なりし辰馬商會にては今回愈々二隻の汽船を以て定期航海を實行することとなり其初航として旺洋丸を去る七日神戶を出帆せしめたり

●**駐露公使館員** 露國駐箚の本邦公使館員は左の如く決定したり

特命全權公使法學博士	本野一郎
公使館一等書記官	落合謙太郎
公使館二等書記官	丸毛直利
公使館一等通譯官	田野豐
外交官補	津田五郎
同	佐分利定雄
同	佐藤尙武

●**東北窮民救恤に就て** 本社の救恤義捐金募集を發表するや志士仁人の或は義資を投し或は書を寄せて同情を表せらるゝもの頗る多く本社の面目此上もなき次第なるが某武官より寄せられたる書狀に曰く『東北三縣凶作の爲め同地方人は非常の困難に陷ることは兼て承知罷在候處今般畏くも兩陛下より御救恤金の御下賜あり又貴社に於て義捐金を募集せられ東京の各新聞社聯合して救恤に着手せることを聞き益〻容易ならさる慘狀と思考仕候御承知の通り宮城福島二縣下の健兒は第二師團磐手縣下の健兒は第八師團兵として戰役に參加し前者は鴨綠江の激戰以來各地に轉戰し曠古の大功勳を奏し後者は黑溝台の惡戰奉天大會戰等に於て赫々たる武勳を奏したる勇將猛卒に御座候今や第二師團は凱旋し第八師團は滿洲守備軍として北地に駐二す万死の間に出入し無事に凱旋したる兵士等が其郷里に於ける境遇を思へば轉た淚なき能はず候門に迎ふる妻子は衰弱して昔日の美容なく日夜待ちに待ちたる老母は淚を飮んで瀕死の狀態にあり嗚呼彼等兵士の心情を推察すれば何人か一掬同情の淚なきものあらんや百戰鐵火の間に一命を拾ひ尙滿洲守備として駐する磐手出身將卒の心情を推察すれば一層切なるもの可有之候妻は愛兒の飢餓に泣けるを報じ老父は妻の日々山野に食を拾ふて孝養に從ふを思ず嗚呼何等の悲劇ぞや此書信に接せる兵士等の胸中を思へば鬼と雖も紅淚を流すべきかと存候貴社の義捐金は是等の家族を救恤すると共に是等の勇士を慰籍するものに御座候小生は滿洲各地に於ける我同胞は必ずや振つて義資を投ずるに吝ならさるを信じ申候官民は勿論將校兵士と雖も一片義俠の心あらば多少に拘らず寄金するもの續出するならんと信じ申候』云々

●**營口輕便鐵道の後聞** 營口牛家屯間の輕便鐵道の概況は大略昨紙記載の通りなるか一二の事項に付て書き殘したれは今左に之を記すへし▲荷物運賃 荷物運賃は大体に於て重量に依て計算す而して重量に對する運賃の割合は旅客の運賃に比例して之を定む故に旅客一人位に相當する貨物の運賃は尙ほ旅客の運賃の如く二十錢前後を以て算すと云ふ▲公用貨物 公用貨物主に軍隊用品は無料を以て其の輸送を許す但し斯る場合には輸送者は大底補助輪卒也履人の苦力は其使用を許さす要するに唯た[illegible]車を貸すに過ささる也▲貨物增加 開業以來今日迄の營業成績に依れは旅客と貨物の割合は旅客に於て多く貨物に於て少く即ち貨物の輸送賃は總收入中僅に四分の一を占むるに止ると雖も將來は人貨の比例轉倒して貨物は乘客に比較して非常の多數に達すへく從ふて運賃の大部分は貨物の輸送に依りて生するに至る可き當事者間の見込なりと云ふ▲敷設費用 材料工の代金は固より其の事の敷設費は大約二千三四百圓也但しレール等中に交り在らさる也一日の決算勘定に於て純益の少かりしは是等の費用を控除する所ありたる爲なれは本月以後の決算に於ては豫定の純益即ち每月二千圓位の純益を觀るは格別困難に非すとなり▲奉天鐵嶺 輕便鐵道は單に營口丈けの官營事業に非す奉天に於ても鐵嶺にも共に官營を以て營業しゝあり而して其の景氣も亦た營口と大差なく共に比較的良好なりと稱へらると

●**金融** 之を日本人側に見れは目下の金融は未た逼迫迄は至らさるも亦た固より圓滑の方にはあらす其の原因は敢て商業資本等の爲に資金の需用あるか爲にあらす反つて不景氣の爲に返濟資金等の融達に各人苦心しつゝあるの結果なるへし更に淸國人間に見るに目下尙は大部分は新年休業中に在れは固より金融は逼迫には至らさるも出す品は思ふに任かせす入る品に對しては代金仕拂の義務あり昨年來の不景氣にて孰れも內部に於ては資金に甚た欠乏を覺へ居る模樣なれは亦た固より閑散の方にはあらさる如し之を要するに鐵路の輸送にても大に便利となり營口市內に堆積する諸種の物品一應各々目的地に輸送を終るにあらされは淸國人側は勿論日本人側の金融も圓滑には至らさるへしと云ふ

●**紀元節大祝賀會** 與倉長官の主催に係る紀元節大祝賀會は本日午後六時(日本時間)より西營口鳳鳴茶園に於て開かるへし案內に應して參會するもの日淸人約二百五十餘名之に軍政署員を合せ殆んど三百餘名の多數なり平和克復後の紀元の佳節なれは其盛會想ひやらるゝなり詳細は次號の本紙上に登載して讀者に報せん

●**軍票騰貴と送金** 正金銀行に付て聞く所に依れは軍票九十八錢に昂騰したるの當時は內地に對する送金も平常に比較すれは甚た增加したるの觀ありたるも會々淸國の新年等の爲に事業を休止し更に新に開始したるの時たりしを以て送金の多數なりしは或は休業中に在りたるか爲なるやも料り知る可らす確實に軍票騰貴の結果なりとも判斷し難し云々

●**與倉長官の外人招待** 與倉長官は一昨夜六時より軍政署官舍に於て當地在留外人を招待して茶話會を開催せられたるが參會者約六十名夫人同伴のもの多數にして種々興味ある催しあり和氣洋々孰れも十分の歡を盡して退散せりと云ふ

●**本願寺の日曜說敎** 定例に依り本日午后一時及び七時(營口時間)の兩回に於て日曜說敎を開き(苦樂と他力信仰)との演題にて寺本布敎師より說敎ある由

▲祇園のお新は賴みもせん周易を見たと云ふて非常に怪氣焔を吐いて居るさうだ朴捻さん御用心遊ばせ(可雀)▲よろし愚老も年はとれども昔駈けた馬だ二三日の中に尙ウント素破拔いて男の素性も明らかに占うて進ぜよう(朴捻老)▲某料理店は人氣を取る爲めに揚り高を無暗に澤山揚りし如くなす僕が每夜門前にて番人をして居たが客らしき者は實に指で數へる程だ(お茶挽屋)▲近來不景氣の爲めか又勉强の爲めか例の沈沒料が大變安くなりました僕が昨夜某料理店で沈沒したら僅かに三圓五十錢である(愉快生)▲山金さんの義捐金取次方法は實に感心致しました妾も昨日病院より歸途同店に立寄り一圓武力罐へ入れてきました(祇園園お役)▲軍票騰貴し雜貨も安くなり煙草も値下をしたにも係らず散髮代風呂錢の高いは如何(尋問生)

●**でたらめ草** △△△ 五六年前迄は日本內地にピンヘツドといふ兩切煙草が流行つたものぢや▲それはもと亞米利加の勞働者が飮んだもので何んでも辛らい强よい煙草であつたが官煙の賣出しと共に影さへ見え無く爲つた▲然るに營口に來て見ると日本で全く形を潛めて了つた奴さんが大威張りで居るのにや驚いた▲併し坊が營口に來て一層驚いたのは煙草にピンヘツトがあるのみならず酒にもピンヘツドといふものがあることである▲一體營口の品物は悉皆戰地向兵隊向で上等の物は一つも無いが酒も其通りで何々正宗なんテ正銘打つた酒が一杯ウンと引被ぶると皆ピンとヘツドへやつて來るピンヘツドの名ある所以である(△△坊)

火車

▲上行車時刻表

車站名	開點 午點分	到點 午點分
新民屯至溝帮子	上 六、〇〇	上 九、五七
營口至山海關	上 八、二〇	下 六、〇〇
山海關至唐山	上 一二、..	下 六、二〇

▲下行車時刻表

車站名	開點 午點分	到點 午點分
北京至山海關	上 八、〇〇	下 六、二〇
北京至天津	上 一一、二〇	下 五、四一

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間下り列車

驛名	發着	時刻		
大連	發 午前	九、〇〇		
遼陽	着 午後	三、五〇	發	四、五五
大石橋	着	一〇、三三	發	一一、三五
金州	着 翌前	二、二〇	發	三、一〇
大連	着	五、三三		

上り列車

驛名	發着	時刻
旅順	發 午後	二、〇三
大連	着	五、三三

營口線下り列車

驛名	發着	時刻
大石橋	發 午前	一、〇〇

天氣

營口地方 自昨日午後六時 至本日午後六時

社告

東北凶作地窮民救恤義捐金募集

東北三縣の凶作は國家近來の大慘事たり之を天保年間の大饑饉に比するに優るも讓らず各官廳及び地方有志は夙夜救濟の道を講ずと雖も窮狀日に益〻甚しく翅に地方自治機關の之が爲めに停止し國民教育の之が爲めに沮滯せるのみならず幾十萬の窮民坐して死を竢つ能はず山に木皮を拾ひ野に草根を掘り僅に露命を繋ぐに至る而も今や時冬天に會し饑寒交々至りて復た食と衣とを得るの道無く父母妻子東西に流離して乞丐と變じ餓莩路に橫はるの慘劇將に臻らんとす是に於てか我內地に於ては東北三縣の舊藩主貴衆兩院議員等胥謀り東北三縣救恤會なるものを起し以て是等窮民振恤の方法を講じ在京各新聞通信社亦其擧を賛して均しく義捐金募集に着手せり我社固と淺埃の力敢て當るに足らずと雖も其慘狀を聞くや既に久しく同情の念轉々已む能はず遂に聲援を我同業者に致し以て幾多窮民が焦眉の急を救はんことを期す江湖の君子庶くは本社の微衷を諒とし應分の義資を投ぜられんことを其規定左の如し

一、義捐金額は一人拾錢以上とす
一、受付期限は二月二十八日迄とす
一、義捐金は直に本社に送附せられたし
一、本社が受付たる義捐金は毎日正金銀行に保管預入を爲すべし
一、期限後は之を一纏めとし東北三縣救恤會に送附し其配分方を托すべし
一、義捐者人名は本紙廣告欄に掲載し受領證に代ふ

明治三十九年二月七日

滿洲日報社

玉島少女

壽山

其一

私の夫は獨乙文學科出身の學士、多い其國の詩人の中でも、殊にレナウの詩が好きで、なめし革の、金線の小形の詩集は、机の邊に、隱袋に會て其身を離しませんでした、この人の詩は花の散り懸つた晩春の恨、でなければ若い美しい少女の天死するのを聞いたやうな感じがすると、て、夫は絕えず私に語つて聞かせて與れましたが、其の悲しい、静かな詩想は何んなに私の胸を動かしましたでしよう。私の生立から境遇、それは丁度レナウの詩のやうで、異に私ほど不幸な、さびしい身はありますまい。私は學校に居る頃、私の身を野外に咲ける無名草に譬へてよく泣きました。人の世の悲哀、人の世の煩悶、何故人はこのように悲しいのでしよう、何故世はこのように無情なのでせう。私は多の友達が海老茶の袴、前髮澤山の兆月卷に白リボンして、樂しさうに街頭を歩くのを見て、何うしてあゝ面白いのかと、實に其れが不思議でした。私は私の夫が多い美しい花の中から、私のやうなものを好奇に選んで、一生の伴侶と爲て下されなかつたなれば、路傍の草花、海底の藻と均しく、徒らに人に踏まれて、この世に浮ぶ瀨は無かつたでせう。いゝえ私は學校に居ります頃から、もうちやんと覺悟を決めて、一生は獨身のさびしい生活　出來る事なら何か公共の事業の爲めに、はかないこの一生を捧げ度いと常に思うて居りました。けれど砲の音の中に傷病兵の母と呼ばれたナイチンゲール孃の雄々しさは、私の性質ではありませんので、其事業、其名譽、私にもし出來たなら何んなに嬉しからうと思ひながらも、しかも私には到底その勇家は無いと知つて居りました

「春の草花實際私ははかない春の無名の草花です」夫に選ばれたのは、今から十年前何うして忘れられませう、私がなにがし女學校を卒業して間もなくです。私には叔母が一人ありますが丁度四月十三日亡母の五年の佛事をすると云ふて、獨活に筍、佛壇には八重の花を私が生けて、鍾の音もさびしく、いろ〳〵昔の事を語り合ひました、私の母に別れてから余程になりますが私の母はそれはやさしい人で、私には何ういふ色が似合ふの、かういふ色が好いのとよく衣服の見立を爲て與れました、ですから私は母を亡くしますと、もう衣服の見立をして下さる母樣が居ないと思つて、先づ泣きましたので、子供心にそれが何よりも悲しう御座いました。其日も叔母が私の衣服を見て（其時私は鼠大名の銘仙を着て居りました）

「弓さん大層じみな御つくりね、母さんが居らつしやると、そんなには爲せて置かなかつたでしように〻〻〻。」と言ひました。私はもう其一言で胸が塞がつて了つて坐つて、居られませんから、其儘椽側へ立つて參りました。春風の吹きしきる日で、隣りの垣には梅花が亂れて雪に埋むれて居りますし、向ふの二階屋の前にはひがん櫻が芽を出し掛けて居りました此時に當り私は何んなに胸を痛めたでせう。

其夜です叔母さんの仰るのには、今日は佛の日だから、御列席の積りで、御前に話し度い事があるが、よく聞いて下さい。〻〻〻弓さんは御亭主を持たんなど、と仰るけれど、……それは學問の力で立派に獨立なさることとは出來ようけれど、女と云ふものは緣があつたら、人に嫁ぐのが普通、何うです御嫁に行く氣はありませんかと仰るのです。私のやうの者、殊に年も取つて二十三のもうお婆樣、それで宜敷ば何うぞ御世話爲すつて下さいと戲談にして私が言ふと、嫁つて與れるかえと叔母さんは此上ない眞面目私の緣は其時もう決まる運命を有つて居りましたので、その貰つて下さるのはと內々聽いて見ますと、弓さんは逢つたことがあるでせう、そら、此間音樂會の切符を上げた人

私の胸は躍りました。其人なら、逢つたことがあるばかりか、其前にも友達の家で歌留多を取つたこともありますし、御話を承つたこともある、瘦削な、色白の、それはやさしい人で、其聽つたのも、確かレナウの詩のことだと覺えて居ります、あの人が何うして私のやうな者を、〻〻と疑つても見ましたが、叔母樣に聞いて見ますと、大層私を御執心で御世辭か知らぬがやさしい靜かなところが御氣に召したとの話。

●奉天を觀じて風に及ぼす

彖象生

舊臘冬至三十九年奉天の氣運を占ひ
巽爲風の六四を得たり

䷸

巽小亨、利有攸往、利見大人
重巽以申命剛巽乎中正而志行柔皆順乎剛是以小亨利有攸往利見大人
六四、悔亡田獲三品有功也

巽爲風の卦たる上下共に巽にして大氣宇宙に流通するの象なり蓋し巽を風とし又木とす風は固より聲無く形なし然れども樹木の動搖するを見て以て風あることを知るへし全体より觀れば下卦の巽を地下の風とし上卦の巽を天上の風とす之れ即ち大氣の天地に流通するの象なり而して風の性たる浮雲を吹き積陰を散し又は萬物を彭舞作興して生育の原を成すものなり其人心にありては幾微を察し隱伏を顯はし又國家に在りては奸匿を除き弊事を釐革するものなり是れ皆入るに非れば能はず風は入るなり從ふなり伏するなり從順恭服の義なり

夫れ風の性たる天地間一日も無かる可らず而して聲なく形なく隱微の穴隙細小の空間と雖とも伏せざる所なし故に之れを小亨と言ふ然るに大氣は流通を以て用とするものなるを以て苟も窒息すれば腐敗するものなり風腐敗すれば虫を生ず彼の虎烈剌病の傳染の如き天に飛ぶに非ず地に行くに非らず皆風を以て媒介す故に風の字は凡中に虫を入るゝなり又風は人の呼吸の如く頃刻も出入せざることなしされば風は動搖するを以て其用を成すものなり故に之れを利有攸往と曰ふ。

此卦を本年の奉天に觀る時は上卦の風を上み政廳とし下卦の風を下も人民とす政廳の風は上より下に下だるの性を有し下卦人民の風は上政廳の風に合ひ從はんと欲す而して上卦の風を政府の命令となす風は天の号令にして其物に入るや至らざる所なく命は人君の号令にして其人に入るや亦至らさる所なし故に巽の時上卦の政廳は上天命に從ひ命令を發し下民心に忤ふことなく又下卦の人氣は一陰を以て二陽の貴きに從ひよく當路の大人を見へて之れを奉仕し上下一致よく功を見るの時とす、即ち上み巽道を以て下を化し下も巽道を以て之れに承順することを尙彼の所謂君子の德は風の如く小人の德は草の如く草之れに風を添ふれは必ず伏すと云ふが如く上下安泰の象とす之れを重巽以申命剛巽乎中正志行、柔皆巽乎剛、是以小亨利有攸往利見大人と曰ふ而して今六四の變を得六四は執政の位にして之れを奉天將軍に象す即ち巽の命令の主爻なり九五の君位と陰陽相比し能く君意を奉戴して政を布き賢を擧げ佞を斥け從來の惡弊を釐め令行はれ功著し國家を補佐し群賢集聚嘉謀良策以て助け益を裕かにし善政善教以て協贊の功を廣むるに足る之れを田獲三品有功也と曰ふ其二風兩々相重なりて止まさるより察すれば我邦と共に意を交へ一致携帶以て事を行ひ彼我共に丁寧反復なるの時にして兩國の交際圓滿なるの年なれば我れに於ても彼れを疑はず例へ風の進退定まりなき如きの事情あるも宜しく武人の貞を以て志を固くすべきの時にして彼れに於ても亦田武を壯にして惡弊を絕つの年とす之れを進退利武人之貞と曰ふ而して風の往來するは尙ほ市の往來繁昌するに象するものなれば商業の景氣活潑にして取引盛なる年とす之れを田獲三品と曰ふ三品とは物品の集積するを言ふものなり本年奉天は命令大に行はるの年とす而して將軍の容色温厚にして望む者意消し辭氣和平にして聽く者忿解け强暴化するの時なり云々

代人贈日本刀辭　黃山

刀鈍猶看紫電斜　百年長欲護君家
男兒只合磨心膽　豈必干將與莫耶

春雜興　醉雨

水仙の鉢の小石や春嵐し
春寒ふ旅順に沈む敵の艦
水仙の出店に春の夜や寒し
厠出れば歸雁の聲す星曇り
梅の家柳の橋や春の月
猿ともの虱とり居る長閑かな
春日和病後のどてら小ぎたなき
長閑さや肩にさらりと洗髮
岩頭に腰して長閑な日なる哉
海邊をそゞろ歩て長閑なり

廣告

東北凶作地窮民義捐者芳名

一銀一圓	營口西北街	加藤幸吉
一仝二圓	同　豐濟門	淺海たつ
一仝十圓	同　元神廟街	滿洲通信社
一仝一圓	同	米良貞雄
一仝五圓	同　太田洋行	太田喜輔
一仝五圓	同	太田都由
一仝二圓	同	福島一雄
一仝一圓	同	太田丈太郎
一仝一圓	同	八木源之助
一仝一圓	同	竹村正雄
一仝一圓	同	中村彌三郎
一仝一圓	同	浦崎宇市
一仝一圓	同	高山定三
一仝一圓	同	多田藤吉
一仝一圓	同　松江木局	塩崎政彥
一仝一圓	同	川崎英一郎
一仝十錢	同　元神廟街	某
一仝十錢	同	某
一仝十錢	同　永世街	辻井資之
一仝五十錢	同	堀內宗助
一仝五十錢	同	堀內くわ子
一仝五十錢	同	堀內猪吉
一仝五十錢	同	堀內桒
一仝一圓	同	辻壽次郎
一仝十錢	同　本願寺	美永仁
一仝二十圓	同　鈔關	蠟山長次郎
一仝拾圓	同	倉田敬三
一仝拾圓	同	金子四郎
一仝拾圓	同	黑澤易德
一仝五圓	同	日笠正治郎
一仝五圓	同	山下安太郎
一仝五圓	同	會田常夫
一仝五圓	同　高淵出張所	高淵ひさよ
一仝四圓	同　三日月	小西てすぎ
一仝一圓	同	小西たか
一仝一圓	同	村上秀次郎
一仝二圓	同	中島さき
一仝二圓	同	西川たね
一仝二圓	同	高木いし
一仝二圓	同	桝田りつ
一仝一圓	同	山本りん
一仝一圓	同	朝比奈さと
一仝一圓	同	森本ふさ
一仝一圓	同	小野とき
一仝一圓	同	梶原たね
一仝一圓	同　初音床	松重とな
一仝五十圓	同　元神廟街	加藤洋行
一仝五圓	同　豐濟門街	鈴木謙吉
一仝五圓	同　永豐街	志田ます
一仝一圓	同	服部くに

計百八十九圓四十錢
通計五百七十四圓四十錢

競爭入札廣告

一生牛皮　約三万枚

右入札保證金見積價格百分の五以上

於大連、競賣す買受望の者は大連本倉庫及營口、遼陽、奉天、鐵嶺、安東縣の各支庫に就き入札心得書、契約書案等熟覽の上明治三十九年二月二十二日午前十一時限り入札書を本倉庫又は前記の各支庫に差出す可し即時開札す

現品は大連本倉庫にて熟覽す可し

契約擔任官滿洲軍倉庫長日匹信亮

明治三十九年二月九日

滿洲軍倉庫

拍賣告白

滿洲軍倉庫長日匹信亮今聲明大連（青泥窪）本倉庫有生牛皮約計參萬張出售有願買者請至本倉庫或至營口、遼陽、奉天、鐵嶺、安東縣等各處支倉庫衙署唯照約契章程給價若干買多少開單呈遞各處倉庫衙署皆可其時先交定銀百分之五如無成局仍將原定繳還各處衙署定於明治三十九年二月二十二日（光緒三十二年正月廿九日）午前十一點鐘收單卽時拆封定局立契官滿洲軍倉庫長日匹信亮

明治三十九年二月九日

一 關內外蘆漢鉄道貨物運輸　但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一 海關手續　事務取扱　倶樂店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ
一 鈔關手續　但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一 船舶荷物取扱
一 其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號

大清通運公司　營口支店

廣告

明治參拾八年十一月廿九日夜警の件に付き協議を要すへき事あるを以て日淸兩國人よりの委員全部と淸國營口公議會員二名とを第一派遣所內に招き協議せしめたり

最も夜警を設置したるは明治參拾八年十一月下旬にして日淸兩國人の委員として夫れ〳〵軍政署より指名せられ其委員に於て總て其事務を擔任し來りたるも日淸兩國委員間に於て是迄意思の疏通せさる爲めと側ら協議を要すべき點とにて本日特に全部召集會見協議せしめたるものなり當日日本人側より谷口今朝太郎、村山彌吉、永島貫二の三氏出席他の三名委員は旅行中又は用務の爲め欠席せられ淸國人よりは全部出席せられたり協議したる件は左に

一是迄の夜警は人員不足にして未た充分に第一派遣所管內を巡視する不能依て一月一日より更に八名を增加せしめ（當時十二名）一層當派遣所管內の各衞を嚴密に巡視せしむると

一八人の增加と共に其費用も倍〻增加するか故是迄日本人側より其全部費用の三分の一を負擔することゝなりをりしも（約一ヶ月百五十圓の見込なりし）一月以降は日本人側より每月百五十圓を支出し他は淸國人より支出負擔すると

但し二十人の夜巡夫は一ヶ月一人十五圓づゝにして二十人にて三百圓當地家賃油炭其他雜費等約五十圓其他柏子木角燈修理代等にて合計三百五十圓

一總て夜警に要する物品は公議會より支辨すると

一日本人側より支出する金額は其月廿五日迄に取纏め第一派遣所憲兵の手を經て公議會に交付すると

一夜巡夫の監督は軍政署に於て監督せらる

一夜巡夫に於て巡視中火災盜賊其他安寧を害する事あるを發見し時に功勞あるものは日本人側より賞與すると

右の通り第一派遣所受持憲兵井元勇馬氏立會の上決議仕候條此段及報告候也

十一月十二日決算報告

一銀二百七十五圓五十錢也　徵收高

內譯

一銀七十五圓二十錢也　十一月分夜警巡夫費
一銀百五十圓也　十二月分夜警巡夫費
一銀四十六圓三十錢也　帳簿并に廣告料及び事務員給料其外雜費

差引殘金十八圓也

右之通報告に及び候也

營口第一派遣所管內

夜警委員

御料理　滿月　平野町一八二（電話一六二）

御料理　滿月支店　平野町（元都樓跡）

今般內地より撰り拔きの別嬪數名呼寄候に付不相變御引立の程希上候

店主　靑木勝惠

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137　電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

石材、碎石
並に自家製造　廉價販賣
瓦、煉瓦

營口元神廟街四十號第二號

順吉洋行

滿洲大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店へ御來店アリタシ

遼陽停車場前　池上出張店
奉天　池上出張店

風藥

登録商標

上咳祛痰散

哮喘氣急、多痰咯血、咳嗽痰病、各種喉症、胃痛胸痛、甚至臥不安、飲食不進、本藥專東手百藥罔效服用此散不論初起遠年立刻見效眞水火既濟之良方也

◎たんせき一切
◎肺病の特藥
◎ひきかせ

醫藥醫料器械
賣藥寫眞藥

營口永世街（審順泰東首）
大販賣東瀛大藥房

澤亀を醇良にして風味高尚

並に 札幌ビール 朝日ビール
政府專賣口付紙巻煙草 朝日 大和
酢 醤油 瓶詰樽詰
菓子色々 罐詰
洋酒類 取次販賣

釀造發賣元
大阪府堺市九間町
北海道小樽湊町
臺灣臺北街書院
臺灣基隆街石牌
臺灣臺南街下南河
北海道函館區辨天町
清國遼陽城内西街
清國大連監部
清國牛莊淺東營口

宅合名會社
本店
小樽支店
臺北支店
基隆支店
臺南支店
函館出張店
遼陽出張店
大連出張店
營口支店

東營口郵便局東隣
●島田洋服店●
新民屯停車場前
●同支店●

會席料理
三日月
營口警務課前南に入る

奉天日本旅館
瀋陽館
家屋宏壯清潔
接待優遇懇切
開放全時ニ開業
奉天小西門外大街路北

SPECIAL LIGHT
(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元　大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣　關東公司雜貨部

發賣
標子
木板
料木

營口青堆子
清水寧木局

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）
（電話百二十七號）

譲り渡し

弊樓現在の家屋疊建具付の儘讓渡し度候に付御望みの御方は至急御來談被成下度候

二月四日
平野町
春帆樓

萬事勉強乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館東京樓
店主　熊田兼次郎
（電話百七十八番）

西洋料理仕出し御需應にす
即席和洋料理　東京樓支店
（電話四十四番）

景品御料理御披露

私儀去月中原料並に道具仕込みの爲め歸朝致し居ましたが此程種々の珍品を仕込みて立歸りましたを幸ひ平常の御引立に酬い度と思いますので此際更に大勉强をしまして從來の御料理を吟味します外新に左記の價額にて釜飯湯豆腐の二品を加へ籤引景品を差上ます

新御料理
加藥飯　御壹人前　銀五拾錢
親子飯　仝　上
湯豆腐　一鍋壹　銀貳拾五錢

但釜飯は加藥親子何れでも御二人前以下は御調進出來ませぬ
景品は御酒肴代（銀貳圓）に對し一枚の割にて景品券にて差上げ置き今回の總券數二千枚を出し盡しました時に有志の御方々の御立會ひを乞ひまして籤引致し景品券を引換へに差記の景品を進せます何卒陸續御入來之程を偏に希ひます

景品目錄
第壹等　銘酒澤亀　七樽
第貳等　仝　三樽
第參等　五匁附純金指環　（代價二拾圓）　壹個
第四等　二本　銀側懐中時計　（仝拾五圓）　壹個
第五等　三本　旅行用皮製カバン　（仝拾圓）　壹個
第六等　四本　旅行用化粧道具　（仝八圓）　壹枚
第七等　五本　膝掛け　（仝六圓）　壹反
第八等　六本　絹紬　（仝五圓）　壹組
第九等　七本　メリヤスシャツ　上下　壹
第十等　八本　巻烟草入　（仝貳圓）　壹個

明治三十九年二月十日より

元神廟街
翁亭
長谷川金次郎

大日本帝國醫科大學模範藥局御用酒
攝津灘石崎合資會社釀造

醇良清酒
澤之鶴

滿洲特約大販賣
裕和盛販賣品目
○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種

清國營口西北街
裕和盛號支店
電話八十一番

裕和盛本支店所在地
○本日本長崎梅香崎
○支店清國、芝罘
○支店韓國京城、仁川、木浦、旅順、鐵嶺、

裕和盛は清商中日本通の張本
澤之鶴は鍅美天ある定に評既

宮門抄

十四日 崇中堂得賞元宵謝 恩 增崇續假十日 徐中堂請假十日 薩廉錫公續假五日

召見軍機

皇上明日卯正至大高殿壽皇殿行禮畢巳正升保和殿筵宴畢還海

奏議

署黑龍江將軍程奏籌辦學堂大概情形摺

奏爲江省籌辦學堂大概情形恭摺仰祈 聖鑒事竊維江省民愚地僻興學萬難奴才於籤請變通旗缺摺內已披瀝言之當此興學恐後之時極當另造規模俾育人材而資講肄大設學規則自應省設高等學府州設中學州縣各設小學然後秩序井然但江省民智錮陋小學程度尙難驟幾遽設中學高等學未免躐等請爲我 皇太后 皇上詳陳之查江省向來旗多民少開創之初以弓馬名振天下洎中興以來名將半出其間然自昔諸臣率多熟精滿蒙文字故行爲動合古法原不僅以勇力制勝今則旣不習國語清書又不諳中外諸學其聰强者略能半識文字入署當差視爲已足自餘顓蒙無識比比皆是坐令聰穎子弟廢棄於冥寞之中深爲可惜其所屬蒙古各部尤爲荒陋此旗籍學程幼稚之實在情形也自中葉以來民人麕集蘭蘇林慶夙稱與區然率農商多而士人少雖光緒九年奏設烏蘭廳學額續亦隨時增設然文學究未蔚興自上年推廣開荒亦多力耕自給絃誦闃然以視奉吉文風百不逮一此又漢民學程幼稚之實在情形也奴才深維各處興學總須士民程度稍有基礎方可借以推展擴張今江省旗漢文風蔽塞若此所有高等學中學一時斷難遽設而又不能令其向學獨後惟有先就省會暨各屬一律趕設小學堂省城小學堂經費即由上年創辦廣信公司餘利項下撥充其餘各屬已由前署將軍達桂與奴才另籌銀二萬二千兩每屬發銀二千兩嚴飭趕緊開辦其常年經費暫令就地妥籌俟數年後各屬學田開墾成熟即有的欵一面廣勸紳富大興蒙學並考選學生出洋學習師範以備教育管理之用惟詳度江省情形興學之法宜合而不宜分宜統籌普及而不宜再分畛域應請此後凡論官莊台站及所屬蒙古均得入學卒業後准其一體照章陞入給獎以宏作育而廣登進俟小學堂敎育稍有可觀再將高等學堂中學堂推廣增設所有籌辦學堂大概情形除咨學務大臣查照外理合恭摺具陳伏乞

皇太后 皇上聖鑒 飭下學務大臣立案施行謹 奏

奉 硃批學部知道欽此

中外要聞

●中俄協約近聞　中俄兩國已於初五日開議茲探悉當未開議之前外部照會俄公使請定期開議而俄公使答曰中俄兩國無甚可議之事如中國欲議即請定期知照可也於是遂派唐少川氏於初五日與俄使開第一次會議茲聞中國欲與俄國商議者共有十款大致如左

一日俄在美國所訂和約中有與中國關碍者應行提議另訂中俄專約一律遵守

一東三省撤兵之事中日專約中日本國家已經允許俟中俄專約中如何議訂則日本亦可照辦故應請俄國定期從早撤淨以全和好

一俄兵之在哈爾濱者亦請撤去並永遠不得駐兵

一重行劃清恰克圖租界界外不得有俄兵駐紮

一俄人在西比利亞通至黑龍江之鐵路附近佔用之地一百餘畝一律退還

一漠河觀音山金礦俄人所佔據者以及都魯河發畢拉河之金礦俄人已經開採者此外尙有呼蘭綏化以至黑龍江之北之礦產俄人已開者應全行退交所有註兵亦一律撤去

一俄國所行之羌帖祇可在恰克圖租界內使用界外不得行使更不得流通於伊犂境內

一東三省將來開放之處中國承認俄國一律通商與他國無異並承認俄國設立領事一律照護（尙有兩欵未悉）

●兩宮諭示各省教案　軍機大臣召見　兩宮諭及近畫去歲各省奏章教案多倍於昔總因民教涉訟地方官辦理失平遂生仇視之心無故尋釁宜如何妥定善法以息民教爭端庶免釀成交涉務須詳細籌議等諭當經各大臣會商擬飭各省督撫設立會審公所延聘優等公正律師專理交涉案件俾期辦理平允民教日以相安

●法國要求金礦　法國欽差帶同該國商人兩次至外部要求巴旺土司金礦雖經那聯堂官謝却復恐再有葛藤昨四點鐘時堂憲交諭電飭四川總督務將該處礦產派員會勘明確自行籌款開採責督將巴塘裏塘等處礦產一併列表送交商部查核辦理

●俄人強佔呼蘭民地　昨聞外部接據黑龍江將軍電稱呼蘭廳所屬之馬家船口有民地百餘畝忽爲俄國鐵路公司恃强佔據民情憤憤請即照會俄使電令該公司從速交還以免釀成禍亂云云外部已據情照會俄使矣

●岑雲帥調奉之說　政府消息岑春煊現因辦捐築路挐捕粵紳爲粵紳聯銜奏參聞軍機以岑實有平亂之才歷任川粵卓著成效現以趙次帥在奉于辦理地方要政及勦撫馬賊之事未見出色故某軍機頗主持改行省後調岑春煊總督東三省之議于勦馬賊辦交涉必裨益不淺

●請杜俄涎設烏庫電線之謀　聞烏里雅蘇台署任將軍奎煥電致政府請自行籌款安設自烏城至庫倫電線使信息靈通並聲明如再遲延俄商即將垂涎邀求亟宜自辦以重邊防而杜俄謀

●劃抵俄國賠欵之密聞　近得一秘密消息政府因俄境此次匪亂如海參威墨斯科高加索等處華商之受損傷者不下一二千萬照萬國公法凡外國人在本國境內遭受意外之損傷者本國國家應估計其損傷之數而賠償之故中國拳匪之變外國商人之損失資財者大賠欵至四萬九千萬之多俄國約分得一二千萬今俄境匪亂損傷華商資財自應援照辦理擬即日由駐俄胡使與俄國政府交涉提議此賠償問題參照俄人庚子年在中國所損傷者兩數多寡差同應即豁免繳庚子中國賠償俄國之欵劃抵此次俄國賠償華商之數以昭公允而恤商情並聞已由政府密電胡欽使務宜切實調查開列清表以便俄國無可狡辯云

●大島大將移轉旅順消息　遼陽函云大島大將所部關東總督府現在遼陽幹辦事務聞於西四五月之交移轉于旅順新街之官衙云

雜報

●手票羌帖　近日本埠手票迭漲羌帖迭落前日手票一元由爐銀七錢七分迭漲至七錢九分五厘昨日市行七錢九分二厘羌帖前由爐銀八錢三分四厘落至八錢二分八厘昨落至八錢二分二厘云

●巡役示潔街道　由客臘以來本埠查潔閭閻街道稍弛而居民等多有任放豬豕出欄沿途遺糞瀝溲殊有汚穢狼藉之處茲見第四派遣巡役沿門呼掃街途囑要潔淨該派遣所所屬之區若爾蓋他派遣所所屬之區亦然咸曰斯誠不怠厥職云

●北地靖擾不同　茲聞鏢行人云奉天境界凡屬日軍鎭壓地面由海城延及昌圖都以北所有道途俱爲安謐再由奉化縣而北雖有吉林省軍隊沿路查巡而馬賊四處潛巢不時出沒致擾道途仍屬不靖云

白話

●學務處白話勸學示（續昨稿）總而言之那學堂的制度並不是專仿外國亦不是現時獨創的實在是古來舊有的好法子如今把他重新舉辦起來入學堂的可以不必多疑況且又有獎勵出身的章程甚麼叫作獎勵出身的章程呢在高等小學堂學滿了的就賞給他秀才在中學堂學滿了的就賞給他貢生在高等學堂學滿了的就賞給他舉人在大學堂通儒院學滿了的就賞給他進士翰林其餘師範學堂農學堂工學堂的學生到了學滿了的日子亦是一樣可見這學堂的出身和那料擧是一點不差的入學堂的更可以不必多慮現在學堂的章程有修身科爲的是培養那忠存信義合羣愛國的才料有讀經講經科講說古聖先賢的道理還有圖文算學歷史地理格致圖畫體操等科亦全是有益於身有益於家有益於國實實在在的學問入學堂的更是不必多慮了但是開辦學堂全在乎官紳操辦如果辦起來人人都知道學堂的好處誰不爭着辦學堂呢那入學堂的學生亦自然一天比一天的多了不止求功名的人要入學堂連那種地的作工的作買賣的亦全要入學堂不止九官齊全的人要入學堂就是那聾瞎啞亦全要入學堂將來我們中國四萬萬人沒有一個不入學堂的亦就沒有一個不明白學問的那個時候纔叫作教育普及了到了那個時候不止於造就出許多的人才爲國家辦事連本地方的人亦是很有光彩的這道 上諭下了以後學務大臣要赶緊的把各種教學生的書頒發下去教各學堂好照着這個書教學生各省的督撫亦要赶緊的催著各府廳州縣教他們一面多開、等高等的小學堂一面造就學堂的教習作一個開通民智的根本君民上下一心一意操辦起來學堂必是沒有推不廣的但是學堂開是開了就怕辦理學堂的人僅顧情面可就怕又生出弊病來總要多派幾個深通教育公正無私的人認眞的考查實心勸導把弊病全除了去學堂纔能一天比一天的多果然作到這個地步人的德行必是漸漸高起來人的智慧亦必是漸漸的長起來那有德行智慧的人一天比一天的多了（未完）

NEWCHWANG, SUNDAY, FEB. 11, 1906.

To-day, Feb. 11th, marks the 2566th anniversary of the accession to the throne of the Emperor Jimmu, the founder of the Imperial Japanese Dynasty. It is called 'Kigensetsu' (紀元節) and figures as one of the three greatest national holidays in Japan, the other two being New Year's Day and the Emperor's Birthday.

Mr. Segawa will receive congratulations of the occasion at the Japanese Consulate between 10 and 12 a.m.

Lt.-Col. Yokura will celebrate the occasion on a grand scale in the evening at the Chinese Theatre West Yingkow. Prominent Japanese residents have been mostly invited to share with him the joys of the day.

For the benefit of those foreigners who have left their private property in Kwantung Peninsula, a set of regulations has been issued under date of January 21st. last.

According to the regulations, these foreigners, or accredited attorneys, are first to be armed with a permit given by the Tokyo Army Office for their intended visit to Tairen (Dalny) or Port Arthur. Those who are interested in Port Arthur are called upon to report, in a written statement within 24 hours after their arrival, at the Civil Administration Branch Office there, their names, nationalities ages, occupations, home addresses, places of stay, and object of their visit, and those of their companions or attendants, if there are any, together with a copy of the permit obtained from the Army Office. The others who are interested in points outside Port Arthur are to report in the same manner at the Civil Administration Office at Tairen. They are expected to stay within the town limits of Tairen or Port Arthur, and to go out of them when necessary in connection with inquiry into their property, only after securing permission for doing so. Such property as has been taken into charge of the Japanese authorities, in absence of any one to look after, shall be restored to its owners or their attorneys who will apply for its delivery within 8 months from the date of issue of the regulations. In the last mentioned instance, a list of the items of property, with their qualities, quantities, and values entered thereon in detail, stating in addition where and when they were left—all written in Japanese—shall be attached to the application to be presented at the Civil Administration Branch Office for what was left at Port Arthur, and, for any at other places, at the Civil Administration Office at Tairen. In case of the applicant being an accredited agent, the application shall be accompanied with the letter of attorney, which document or any other paper to be produced in the original is to have a translated copy in Japanese, or, as the only available substitutive languages, either in English or French. The disposition and removal of the property shall be conducted in observance of the instructions to be given by the Japanese authorities. The period of stay allowed for the investigation, disposition, and removal of the property shall not exceed one month, although subject to the discretion of the Civil Administrator at Tairen for an extention. The visitors are required, during their stay, also to comply with the other regulations, in force in Kwantung Peninsula.

With reference to the above regulations, we may add that the Committee on Private Foreign Property has been organized with Mr. Y. Ishizuka, Civil Administrator at Tairen, appointed as the Chairman of the Committee. In this connection, we are pleased to further append that, from what little we glean from a reliable source, the scope of application of these regulations is not to be strictly limited only to Kwantung Peninsula, but may cover the entire jurisdictive district of the Viceroy of Kwantung. It is worth the while, to our thinking, for people who have left their property anywhere within the territory in Manchuria under Japanese Administration, to apply to the Chairman of the Committee referred to for more definite information in this respect.

Lt.-Col. Yokura entertained at an enjoyable tea some fifty members of the foreign community last Friday afternoon. Every guest was asked to try her or his luck at the 'wheel of fortune.' A beautiful candy box was offered for the correct guessers of the number of the contents. Capt. Smith and Mr. Van Ess won the honours which were divided even.

時刻
報
昨日の氣溫
最高溫度十三度八 高十五度三
最低溫度零下七度八 高十三度二

營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷 初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 厩田久二

旅館 大和館 永世街十一號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

御料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

料理 醉花園 旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

旅館 金城ホテル 永世街百六十六號 料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

料理 喜樂亭 營口元神廟街

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

和洋御料理 東京一流 かき飯 第二東京館 元神廟街 店主 松田平四郎

御料理 叮嚀專一 柳亭 豊濟門街二三 店主 玉岡[illegible]人

御料理 並ニ溫泉 一力 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号

和洋料理 御旅館 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門二一七号

遼陽旅館料理屋案內

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝圓搥

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 御料理 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般

（營口綏定門街 ブツシ商會東）

喜川鐵工場

新荷着 消火器

右今般新荷着仕候間可成至急御申込願上候

營口西北街 英治洋行

清國營口二本町二五五號

料木 標子 木板 發賣

塩川商會

主任 鹽川峰吉（電話一三六番）

遼陽小西門內 鹽川商會

建築用材 外に

電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本●

北海道產松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘

右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

弊店儀雜貨專業之處今般業務擴張の上日本は勿論滿洲に支店を設け併て鮮魚の御小賣充分勉强の上御用達可申候間倍舊の御用命被仰付度奉願上候 敬具

營口南永世街百廿七號 森屋洋行

大連大山通り二丁目 仝支店

遼陽西門外 代理店 林洋行

奉天小西門外（電話十六番） 代理店 米田洋行

御旅館 天津 芙蓉館 駐屯軍御用 並西洋料理（電話四十一番）

北京 扶桑旅館 東單牌樓大街路西 客室淸潔料理鮮新

御旅館 豐陽館 上海（電話一〇六番） 日本郵船會社荷客取扱 歐米滊船乘船取扱 館主 米田藤吉

高等旅館 彌生館 營口永世街 館主 宮下只七郎（電四二）

旅館 富喜樓

室內は極清潔防寒之設備あり

鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案內者出張致し居候

鐵嶺城東門外南へ一丁余 南大街 樓主敬白

和洋會席御料理

一 弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に御引大勉强仕候

二 奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候

營口永世街二本町 日本館本店（電話百三十番）

奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店（電話十九番）

各位樣

藝妓仲居 新來御披露

此度新たに內地より藝妓仲居十數名を連れ參り候間御光來の上御評判の程願上候 草々

營口 高砂ホテル 高砂（電話一四五）

雜貨卸商 營口元神廟街 關東公司雜貨部

雜貨 醬油 味噌 清酒

營口西北街 阪神組

卸小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持参可仕候也

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 一石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○干壚魚 ○石灰

喜久洋行 永世街八十號（電話百五十二番）

大連 東洋ホテル 大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

為替相場（二月九日）
上海は百圓に付六十七兩二錢五分
天津向は百圓に付一百〇八圓五十錢
芝罘は天津と同直段

日本品最近物價表 加藤洋行調査

菊正宗	三斗九升入	銀二十圓
麒麟正宗	四斗四升入	同十七圓
菊正宗	瓶詰四打	同十五圓
鮪	四打入	同十三圓
ラツキヨ漬	五打	同十四圓五十錢
辛子漬	四打	同九圓五十錢
フキ	仝	同八圓
[illegible]	仝	同十[illegible]圓
鷲ミルク	仝	同十八圓

石炭（飯塚工程局）
一 上等塊炭 一噸ニ付 銀十八圓

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙